

開校から16年 理系高校としての着実な歩み

理系のスペシャリストを育成するために、平成20年に創られた理数科と工業科をもつ新しいタイプの学校です。創造力の育成、課題解決能力の育成、人間力の育成を三つの柱とし、日本の未来を創ることができる「ほんものの力」をつけることを教育方針としています。そのため、実験・実習を通して培われる理系の本物の感性を育てることを大切にしました。工業科はさらに専門性の高い小学科を設置し、県内の科学技術者の養成のみならず、グローバルな感覚をもった世界で活躍できるスペシャリストの育成を目指しています。

高い進学実績 全国公立工業系高校トップクラス

本校は専門高校でありながら高い進学実績を残しています。理数科はほぼ全員が進学します。令和4年度は、国公立大学に、理数科30名、工業科31名が現役で合格しました。国公立大学61名は、全国の工業系の公立高校ではトップクラスです。地元静岡大学には工学部を中心に毎年多くの生徒が合格しています。

就職率は100% 公務員にも多数合格

就職希望者に対する求人数は、過去3年間約6～8倍を維持しており、多くの企業が本校に期待してくださっています。したがって、開校以来就職率は100%です。



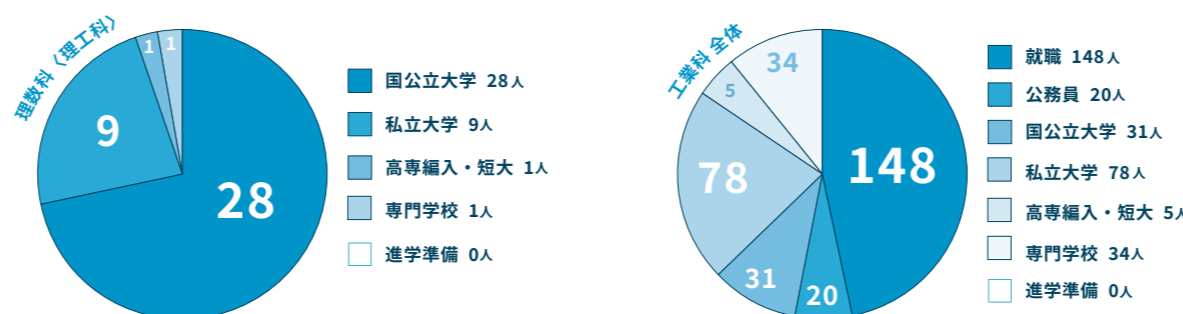
恵まれた環境 充実の設備!もちろん空調も!

広大な敷地に、5階建ての普通教室棟・3階建ての実習棟が2棟、全面人工芝のグラウンド、全天候のテニスコート、50mプールなど、施設は全国屈指の充実ぶりです。また工業専門高校ならではの設備（電子顕微鏡や高額な実習装置）も大変充実しています。教室には空調設備もあり、快適な環境で学習することができます。その充実ぶりは全国的に見ても珍しく、他県からの見学者が絶えません。

万全な学力向上対策 毎日7時間授業

より高度で専門的な学習を行うためには普通教科の基礎学力も大切です。また、実験や実習を行うためには時間が必要です。そのため、本校は開校以来1日7時間の授業を行っています。1年間で履修する単位が35単位、3年間で105単位の履修を行う公立高校は、県内でも本校だけです。

あなたの希望の進路をかなえる 《進学・就職 令和4年度進路実績》 (数字は人数)



令和4年度 卒業生の声



名古屋大学 理学部
佐野 今太 さん
(理数科卒・静岡市立清水第二中学校出身)

理数科では、工業科の実習や課題研究など他の高校にはない体験ができます。このような体験から自分の専門分野を見つけたり、進路決定や将来の展望を考えたりするきっかけになりました。また進学指導も手厚く、朝・放課後補講をはじめ、休日の補講や模試など学習環境が整っていると思いました。3年間同じクラスのため、良い友人関係を築くことができ、文化祭や体育祭などの行事にクラス全員で団結して取り組んだり、勉強を教え合ったりする機会が多くありました。共に支え合うことで受験も乗り越えられ、有意義な高校生活になりました。



中部電力パワーグリッド株式会社
北沢 昇大 さん
(電気工学科卒・静岡市立清水第七中学校出身)

高校3年間では、専門分野である「電力技術」、「電気工事」を熱心に学習して、将来に必要な知識や技術を身に付けました。電気研究部の活動では、第三種電気主任技術者や第一種電気工事士の資格試験合格を目指して部員と切磋琢磨し、1年生で第一種電気工事士に合格しました。また、ものづくりでは、仲間と協力して製作しチームワークが向上しました。電気工学科の生徒は協調性が高く、先生方も熱心で楽しく生活できました。学業に力を入れたことで、希望の電力会社に就職が決まりました。



群馬大学 理工学部
松下 真歩 さん
(物質工学科卒・島田市立島田第二中学校出身)

私の高校3年間で振り返ると、濃密な日々だったと感じています。物質工学科では、機器分析など工業と関連した化学実験の学びや、国家資格である危険物取扱者の乙種全類を取得することを頑張りました。また部活動では自然科学部に所属し、全国大会で研究発表をしたり論文を書いたりする貴重な経験をしました。これらの学校生活を通して、化学をより専門的に学ぶ大学へ進学することを決め、将来は医薬品開発に貢献できる研究をしていきたいと考えています。私が私らしく、自由に好きなことを打ち込むことができ、科学技術高校に進学して本当に良かったと感じています。高校生活に期待と不安があると思いますが、自分の夢に向かって自らの道を切り開くために頑張ってください。